

## 第6回大会 偶然だけでは勝てません

冬の冷気は感じるものの穏やかな晴天に恵まれた11月25日(月)正午から令和6年度第6回麻雀大会を開催しました。

会場は、前回大会から利用することになった池袋西口の元マルイの裏側にあるZOZO(ズー)池袋西口総本店で、まだ経路に慣れていない人もいて参加者全員が揃ったのは定刻間際でした。

前日には大相撲・大関の琴桜関が初優勝を果たし、前週には大リーグ・ドジャースの大谷選手が2年連続3度目のMVPを受賞という他人事ながら喜ばしい出来事がありました。

野球や相撲などは天賦の才に加えて人一倍の努力・精進によって実力を高めることができが輝かしい業績をもたらしますが、麻雀は必ずしも力量や経験値どおりの結果が出るとは限りません。

何度も述べてきましたが、麻雀の特徴は勝敗に影響する偶然性の度合いが非常に高いことで、約985億通りあると言われる配牌(対戦開始の形)から始めますので、とても勝てそうもない状態の時もありますが、思いがけない好運に恵まれて簡単に勝つこともよくあり、それが面白さにつながります。

さて、今大会は17名が参加し、役員が1回ごとに抜けて調整を図り、4卓で4回戦の競技を行いましたが、前回・前々回と連続優勝した村木さんが他用で不参加のなか誰が栄冠を手にしたのでしょうか。

3回戦目まではプラスが8人、±0点が一人、マイナスが8人という状況で、最後の4回戦目は何とかプラスに転じたい或いは得点を伸ばしたいという各々の思いがぶつかり合って激戦となりました。

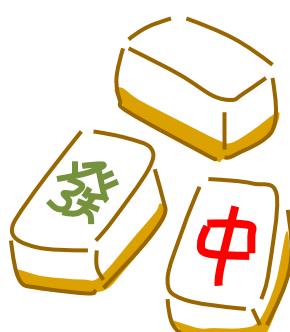
結果は、佐藤さんが優勝、田中さんが準優勝でした。

優勝した佐藤さんは、長い麻雀歴を有し、力量も十分で、囲碁将棋部でも活躍されている方で、一方の田中さんは、今年度は5位・4位と続いて、さらに前回3位から一つ順位を上げての準優勝でした。

こうしてみると、麻雀は偶然性が高く、運に恵まれて勝つこともあるのとそこが面白いなどと言ってきましたが、力量・経験・努力・精進といったものがそのまま結果に反映されることも多々あるということが分かりました。

次回開催は、年明けの1月28日(火)です。

皆様の参加・入部をお待ちしておりますので  
ご希望の方は健友事務局にご連絡ください。



「ZOO」にて、A・B・C・Dの4卓で開催！

